学習指導要領		都立府中工科高校 学カスタンダード
(1) 物体の運動とエネルギー	<p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な物理現象を、単位を用いて表せる。 ・絶対誤差や相対誤差を理解し計算できる。 <p>(イ) 運動の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等速直線運動を理解し、計算することが出来る。 ・グラフを使って等速直線運動を表せる。 <p>(ウ) 直線運動の加速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等加速度運動を理解し、計算することが出来る。 ・グラフを使って等加速度運動を表せる。 <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に様々な力が加わっていることを理解する。 <p>(イ) 力のつり合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつりあいを理解する。 <p>(ウ) 運動の法則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の三法則を理解し、計算することが出来る。 ・つりあう力と作用・反作用の力の違いを理解する。 <p>(エ) 物体の落下運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由落下する物体の運動の特徴を理解し、計算することが出来る。

学習指導要領		都立府中工科高校 学カスタンダード
様 々 な 物 理 現 象 と エ ネ ル ギ ー の 利 用	ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。	ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー ・運動エネルギーと位置エネルギーの違いを理解する。
	(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。	(イ) 力学的エネルギーの保存 ・力学的エネルギー保存の法則を理解し、位置エネルギーと運動エネルギーの関係について理解すること。
	ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。	ア 熱 (ア) 熱と温度 ・原子や分子の熱運動という視点から熱を理解し熱容量や比熱を計算できる。
	(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。	(イ) 熱の利用 ・熱の移動及び熱と仕事の変換について理解し、エネルギーと関連付けて理解すること。
	イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。	イ 波 (ア) 波の性質 ・波の性質について理解し、振動数や振幅を理解すること。
(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	(イ) 音と振動 ・気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。 ・音の性質や固有振動を理解すること。	

学習指導要領		都立府中工科高校 学カスタンダード
<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用</p> <p>(ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界</p> <p>(ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質により電気抵抗率が異なることを理解する。 ・帯電の仕組みを、電子を通して理解すること。 <p>(イ) 電気の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電流や電気抵抗を、公式を用いて計算することが出来る。 ・交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。 <p>エ エネルギーとその利用</p> <p>(ア) エネルギーとその利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。 <p>オ 物理学が拓く世界</p> <p>(ア) 物理学が拓く世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活に利用されていることに気がつき、科学技術に関心を持つこと。 	